

2013年度 決算の概要

1. 経営成績

- (1) 連結売上高は、中国での高吸水性樹脂設備の増設効果の寄与に加え、消費税増税前の駆け込み需要もあり、前期比15.8%増の1,652億円となりました。
- (2) 利益面では、増収効果に加えコストダウンなどにより、連結営業利益は前期比31.1%増の81億円、連結経常利益は前期比26.8%増の92億円となりました。
- なお、単体の当期純利益が前期比大幅減益となりましたが、これは当社が保有する当社連結子会社サンナム・コーポレーション株式に係る関係会社株式評価損41.2億円を損失処理したことによるものです。

(単位：億円)

| | 連 結 | | | 単 体 | | |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 2012年度 | 2013年度 | 伸び率(%) | 2012年度 | 2013年度 | 伸び率(%) |
| 売 上 高 | 1,427 | 1,652 | 15.8 | 947 | 1,021 | 7.8 |
| 営 業 利 益 | 62 | 81 | 31.1 | 29 | 32 | 12.4 |
| 経 常 利 益 | 73 | 92 | 26.8 | 54 | 54 | △0.9 |
| 当 期 純 利 益 | 42 | 49 | 17.7 | 40 | △3 | — |

2. セグメント別連結売上高

(単位：億円)

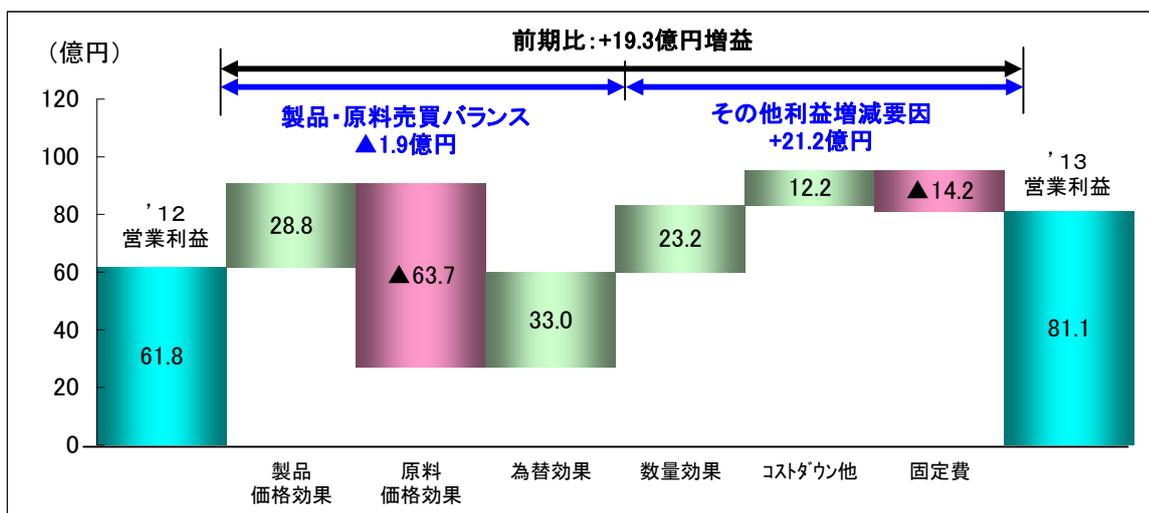
| | 2012年度 | | 2013年度 | | 前期比 | |
|---------------|--------|--------|--------|--------|-----|--------|
| | 売上高 | 構成比(%) | 売上高 | 構成比(%) | 増減 | 伸び率(%) |
| 生活・健康産業関連 | 553 | 38.8 | 679 | 41.1 | 126 | 22.8 |
| 石油・輸送機産業関連 | 328 | 23.0 | 381 | 23.1 | 53 | 16.2 |
| プラスチック・繊維産業関連 | 176 | 12.3 | 195 | 11.8 | 19 | 11.0 |
| 情報・電気電子産業関連 | 201 | 14.1 | 208 | 12.6 | 7 | 3.6 |
| 環境・住設産業関連他 | 169 | 11.8 | 189 | 11.4 | 20 | 11.6 |
| 合 計 | 1,427 | 100.0 | 1,652 | 100.0 | 225 | 15.8 |

3. セグメント別連結営業利益

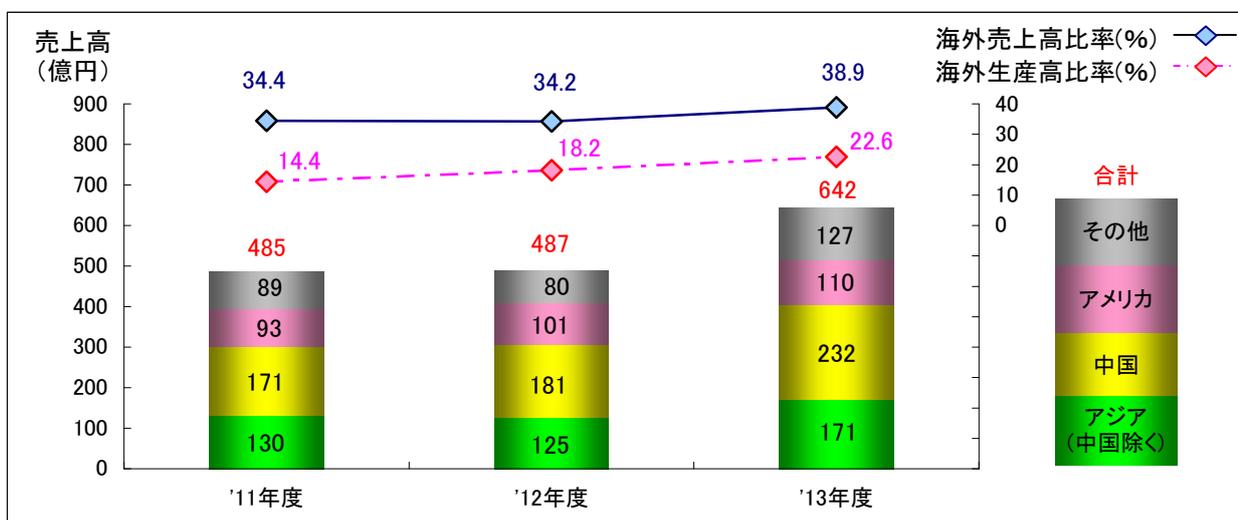
(単位：億円)

| | 2012年度 | 2013年度 | 前期比 | |
|---------------|--------|--------|-----|--------|
| | | | 増減 | 伸び率(%) |
| 生活・健康産業関連 | 29 | 39 | 10 | 34.6 |
| 石油・輸送機産業関連 | 11 | 14 | 3 | 23.5 |
| プラスチック・繊維産業関連 | 20 | 24 | 4 | 20.4 |
| 情報・電気電子産業関連 | 5 | 6 | 1 | 17.9 |
| 環境・住設産業関連他 | △3 | △1 | 2 | — |
| 合 計 | 62 | 81 | 19 | 31.1 |

4. 連結営業利益の増減分析（前期比）



5. 連結海外売上高の推移



6. 配当の状況

| | 1株当たり配当金 | | | 配当性向 (連結) |
|----------------|----------|------|-------|--------------|
| | 中間 | 期末 | 年間 | |
| | 円銭 | 円銭 | 円銭 | % |
| 2012年度 | 7.50 | 7.50 | 15.00 | 39.6 |
| 2013年度 | 7.50 | 7.50 | 15.00 | 33.6 |
| 2014年度 (予想) | 7.50 | 7.50 | 15.00 | 27.6 |

7. 2014年度業績予想

高吸水性樹脂の販売が引き続き好調に推移すると見込まれることなどもあり、連結売上高は前期比68億円の増収を見込んでおります。利益面では、増収効果により、連結営業利益は前期比7億円の増益、為替差益はなくなりますが持分法投資利益の増加等もあり、連結経常利益は同8億円の増益を見込んでおります。

（単位：億円）

| | 連結 | | | 単体 | | |
|-------|--------|-----|--------|--------|-----|--------|
| | 2014年度 | 前期比 | | 2014年度 | 前期比 | |
| | | 増減 | 伸び率(%) | | 増減 | 伸び率(%) |
| 売上高 | 1,720 | 68 | 4.1 | 1,050 | 29 | 2.8 |
| 営業利益 | 88 | 7 | 8.5 | 35 | 3 | 8.9 |
| 経常利益 | 100 | 8 | 8.5 | 55 | 1 | 2.5 |
| 当期純利益 | 60 | 11 | 22.0 | 40 | 43 | — |

〈業績予想の前提条件〉 為替レート：102円/\$、国産ナフサ価格：6万7千円/KL

8. 主な設備投資と減価償却費

(1) 設備投資額（検収ベース）、減価償却費の推移

(単位：億円)

| | 連 結 | | 単 体 | |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
| | 2013年度 | 2014年度 | 2013年度 | 2014年度 |
| 設 備 投 資 額 | 7 5 | 1 3 3 | 4 8 | 6 5 |
| 減 価 償 却 費 | 9 6 | 9 8 | 6 9 | 6 8 |

(2) 主な設備投資

(単位：億円)

| | 稼働時期 | 総投資額 |
|-------------------------------|-------------|------|
| 単体 | | |
| トナーインター製造設備(鹿島工場) | 2013年度 | 2 6 |
| 超臨界プロセス検討用パイロット設備(鹿島工場) | 2013年度 | 8 |
| 海外子会社業務システム導入 | 2013～2014年度 | 4 |
| 三大雅精細化学品(南通) 高吸水性樹脂製造設備 | 2015年度 | 5 4 |
| 三洋化成精細化学品(南通) 有機合成設備 | 2013年度 | 4 |
| ダウケミカル・アンド・レジンスLLC 潤滑油添加剤製造設備 | 2013年度 | 7 |
| ダウケイ(タイランド)リミテッド 有機合成設備 | 2014年度 | 1 |
| テクニカルセンター | 2014年度 | 1 |

9. トピックス

(1) 新グレードの高吸水性樹脂を増産

当社と豊田通商株式会社の合弁会社であり、三洋化成工業株式会社の連結子会社であるSDPグローバル株式会社は、名古屋工場（愛知県東海市）において、紙おむつの更なる薄型化に貢献する新グレードの高吸水性樹脂『サンウェットSG』シリーズを生産するための設備改造工事を2013年11月に完了しました。同工場における『サンウェットSG』シリーズの生産能力は年産最大6万トンであり、SDPグローバル株式会社の中国現地法人である三大雅精細化学品(南通)有限公司(本社：中国江蘇省南通市)における最大8万トンと合わせて、最大14万トンの生産能力になりました。

なお、上記シリーズを含む高吸水性樹脂の現在の合計生産能力は28万トン（日本計：13万トン、中国計：15万トン）で、2015年7月に中国で年間8万トンの能力増強を予定しています。

(2) 非生物由来で患者の血液凝固能に依存しない新しいタイプの外科用止血材を新発売

当社は、外科手術において動脈と人工血管の吻合*（ふんごう）部に使われる新しいタイプの止血材として、2011年12月20日に医療機器の薬事承認を取得しました。本製品は当社が製造し、医療機器メーカーのテルモ株式会社が「Hydrofit（ハイドロフィット）」のペットネームで日本国内の医療機関向けに、2014年2月4日から販売しています。尚、本製品は当社にとって初の医療機器となります。

*吻合：外科手術における手技の一つで、血管と血管を縫い合わせてつなぐこと。

(3) ダウ・ケミカル日本株式会社衣浦工場の土地の一部と埠頭施設等を取得

当社は、当社衣浦工場（愛知県半田市）に隣接するダウ・ケミカル日本株式会社衣浦工場の閉鎖に伴い、同社土地の一部と埠頭施設、4千キロリットルタンク1基を2014年2月10日に取得しました。これにより、当社衣浦工場は、埠頭施設、4千キロリットルタンク3基を有し、総敷地面積は約14万平方メートルとなり、当社グループでは国内最大の敷地面積となりました。将来の工業用地兼物流用地として活用する予定です。

以 上